



平成 27 年 3 月 31 日

岐阜市長 細江 茂光 様

岐阜市民病院改革プラン評価委員会  
委員長 広瀬 洋



### 岐阜市民病院改革プランの評価等について

岐阜市民病院改革プラン評価委員会規則に基づき、岐阜市民病院改革プラン評価委員会で岐阜市民病院改革プランの実施状況について、公立病院改革ガイドラインに規定する「経営効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」の3つの視点から平成25年度の点検・評価等を行った結果は次のとおりである。

#### 1 平成25年度岐阜市民病院改革プランの評価等について

##### (1) 経営の効率化

公立病院改革ガイドラインにおいて、経営の効率化に関する数値目標は平成23年度までとされているが、当委員会では引き続き検証をおこなっている。

経常収支比率、職員給与費率などほとんどの項目で前年度決算と概ね同程度を維持しており、評価できる。

経費を削減の面において、医業収益に対する薬品費比率が平成24年度の16.6%から16.1%へ下がっている。後発医薬品（ジェネリック医薬品）への切り替えが進んでいることによるものであり、国の目標値を上回っていることも評価できる。

平均在院日数も13.1日と前年度よりさらに短縮されるなど、経営努力により黒字を確保し続けていることから、経営の効率化は順調であるといえる。

今後は、地方公営企業会計制度等の見直しや消費税増税の影響等により費用の増加が懸念されるが、各年度の決算を検証しながら、引き続き安定した経営を続けることが望まれる。

##### (2) 再編・ネットワーク化

岐阜県保健医療計画や岐阜県が策定した「公立病院の再編・ネットワーク化に関する方針」に基づき、岐阜医療圏における中核病院として基本的に現行体制を維持し、地域医療機関との連携を推進するとしている。

紹介率は61.3%となり、この5年間で13.1%、逆紹介率は79.6%と9.8%伸びており、地域の医療機関との連携が進んでいる。

救急搬送患者数も平成20年の2,962人が平成25年には4,397人へ1,435人（48.4%）増加している。

休日急病センター・休日急病歯科センターの患者数は増加し、市民病院への二次搬送率も伸びている。市民病院内に開設されていることで、バックアップ体制も整っていると市民が安心感を抱いている表れであり、岐阜市医師会、岐阜市歯科医師会、岐

阜市薬剤師会との協力を通じて、順調にネットワーク化が進んでいると評価できる。

今後とも、更に関係機関との連携を図り、岐阜医療圏において救急医療や高度専門医療を提供しつつ、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院など地域の中核病院としての役割を果たしていくことが望まれる。

### (3) 経営形態の見直し

岐阜市民病院改革プランでは、「医師や看護師の機動的な採用が可能となる定数を組むなどの定数条例の弹力的運用や診療情報管理士の資格を有する専門事務員の採用などができるということを前提として、当面の間は現行の地方公営企業法の一部適用で経営の効率化を進める」としている。

経営形態に関する中核市及び中核候補市への調査結果によると、平成26年10月現在の内訳は、地方公営企業法の一部適用が9市(25.7%)、全部適用が16市(45.7%)、地方独立行政法人が5市(14.3%)、指定管理が5市(14.3%)となっている。一年前と比べ、ひとつの市が全部適用へ移行したほか、青森市、大津市、東大阪市、倉敷市が経営形態見直しの意向を有し、そのうち倉敷市が平成28年4月に全部適用となることが決まっている。

医療を取り巻く環境の急激な変化に対応するには、病院機能に応じた医療資源の効果的な投入が必要である。特に、第6次医療法改正において病床の機能分化と連携の推進が一層加速されることになり、社会保障制度改革や診療報酬改定などに合わせ、必要な医療従事者を適切かつ迅速に確保し、安心・安全で良質な医療を安定的に提供できる体制を適時柔軟に構築できることが、ますます重要になってくる。

現在、国においては、平成26年度末を目指して、新たな公立病院改革ガイドラインや地域医療構想ガイドラインを策定している。そのほか、新たな公立病院改革ガイドラインに基づく「新公立病院改革プラン」においては、既存の視点に加えて、地域医療構想を踏まえた役割の明確化も求められることや、次年度以降の策定スケジュールなども明らかにされたところである。

これからも医療法等をはじめ地域医療構想や公立病院改革に関する新たなガイドラインなど国や県の動向を注視するほか、他都市の情報収集も努めていくことが必要である。また、今後策定する「新公立病院改革プラン」においても、岐阜市民病院が公立病院としての使命・役割を果たすのはもちろん、健全経営の下、先に述べた病院機能に応じた医療資源の効果的な投入をしながら高度専門医療を継続して提供できる最適な経営形態を引き続き検討していくことが望まれる。

岐阜市民病院は「医療・健康立市」を掲げる岐阜市にとって重要な役割を担っており、今後も市民に必要な選ばれる病院であることを期待するものである。

## 2 岐阜市民病院改革プラン評価委員会の概要

### (1) 委員名簿

	役 職 等	氏 名
委員長	岐阜市医師会副会長	広瀬 洋
副委員長	岐阜市歯科医師会副会長	廣瀬 永康
委員	岐阜市薬剤師会会长	岩田 克擴
委員	名古屋税理士会参与	早川 昭雄
委員	岐阜市民病院長	富田 栄一
委員	岐阜市民病院副院長兼看護局長	小松 博子
委員	岐阜市民病院事務局長	中島 豊之

### (2) 開催日

第1回委員会 平成27年1月29日（木）

第2回委員会 平成27年2月26日（木）